

## 地域別構想（概要）：課題と地域別整備方針

## 第一中学校地域

地域の課題		整備方針（第3回ワークショップ（最終回）の結果を受けて更新されるものです）					
		1) 土地利用の方針		2) 地域施設の整備方針		3) その他地域のまちづくり方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本地域は JR 日豊本線が横断しており、これを境に北（津久見港青江地区周辺）と南（津久見市役所等）に分かれていることから、<b>非効率な都市機能配置</b>。</li> <li>・また、<b>市役所等、地域内の主な公共施設の老朽化</b>が進んでおり、これらの改築、改修が必要。</li> </ul>	P.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 津久見駅から海側の商業地域に指定しているエリアは<b>中心商業業務地</b>と位置づけ、特に<b>津久見港青江地区の公共施設用地には、複合的な役割を有する官公庁機能の移転を検討</b>するとともに、未利用用地についても目的にそった<b>機能の集積</b>。</li> <li>・JR 津久見駅の山側の宮本地区は<b>住商複合地</b>と位置づけ、日常商業施設が立地する住みよい住宅環境の維持、促進。</li> <li>・彦の内、中の内、西の内地区及び千怒地区の土地区画整理事業が実施された地域は<b>専用住宅地</b>と位置づけ、良好な住環境維持形成のため地区計画や建築協定を活用。</li> </ul>	P.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通弱者に対し、危険な場所については<b>信号機の設置等</b>、安全対策。</li> <li>・これまでの公共バスだけでなく、<b>コミュニティバスや福祉タクシー等、機動性の高い交通の利便性向上</b>に向け、多面的な視点より検討。</li> </ul>	P.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津久見湾への景観を意識したまちなみを検討。</li> <li>・本地域の視点場（ビューポイント）となる丘陵地の公園や道路などからの良好な景観の保全、セメント工場など津久見らしさが内外に伝わるよう、<b>景観マップ等の作成</b>を検討。</li> </ul>	P.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>・車社会の進展により買い物客が他都市や郊外部の大規模商業施設へ流出したため、<b>地域内に立地する既存商店街は、賑わいがなくなっており、空き店舗の発生など空洞化現象</b>が進行。</li> </ul>	P.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存商店街では、<b>店主や商工会議所などの意見を取り入れた新たな利用等</b>を検討するなど、商業業務機能の集積を促進。</li> </ul>	P.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の中心市街地及び住宅地内の生活道路について、<b>歩行者が安心して通行できるよう歩行者空間の確保とバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化</b>。</li> <li>・<b>つくみん公園にイベント等を集中的に実施し</b>、本公園が賑わいの中心になる取り組みを実施。</li> </ul>	P.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した木造密集市街地では、<b>住宅の更新時には耐火耐震建築の指導</b>。</li> </ul>	P.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内には<b>未利用地が多く存在</b>。特に青江地区には、各種の店舗など立地する反面、一部は有効活用が図られていない状況。さらに、平成20年3月より日代中学校が休校。</li> </ul>	P.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日代地区は<b>住みよい住宅環境の維持</b>。また<b>日代中学校の跡地は校舎等の既存ストックの有効活用方策</b>を検討。</li> </ul>	P.7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくみん公園を中心に、食の観光マップや、市指定の天然記念物、文化財、史跡などを盛り込んだウォーキングコースなどの作成等を行い、<b>PR</b>。</li> </ul>	P.9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・千怒地区では国道217号千怒日見バイパスの整備により地域間アクセスが向上する一方、通過地域については<b>歩行者の危険性も増しているため、安全対策要</b>。</li> <li>・災害時などの避難場所となる千怒小学校付近や日代地区の日豊本線を挟んだ<b>地区内道路が狭隘なため、緊急車両の通行が困難</b>。</li> </ul>	P.4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地内の<b>狭隘道路や未改良区間の整備を促進</b>。また、<b>地域を分断する踏切の改良について関係機関へ働きかけ</b>。</li> <li>・幹線道路網の整備や分かりやすい案内標識の設置を推進し、集落地内の生活道路への通過交通の流入を抑制。</li> </ul>	P.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害や水害の危険個所の<b>周知徹底</b>や、情報伝達の充実、またそれらに備えた対策。</li> <li>・南海・東南海地震等、未知の災害に備え避難訓練の実施や<b>避難誘導標・避難場所表示</b>の対策。</li> </ul>	P.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、みかん農家の減少により農地の荒廃が目立つようになったことから、<b>今後農地保全を含めた用途を考えることが必要</b>。</li> </ul>	P.4					<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>みかん畑については、特に優良畑を本市の独特な緑農景観としその保全</b>。農業従事者の減少を食い止めるため、関係部署との調整により後継者対策の充実とあわせ新たな担い手の創出も検討しながら、優良畑の荒廃抑制。</li> </ul>	P.8

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくみん公園をはじめ、市民野球場が併設された総合運動公園等、本市のみどりの拠点を活用するため、施設整備の維持管理に努め、交流活動や健康増進にむけたイベント等を検討。</li> <li>・公園のあり方や施設等、住民の意見を集約し今後の更新事業に反映。</li> </ul>	P.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップで再発見された<b>地区の祭事を通じ、コミュニティ充実</b>を図る支援を検討。</li> <li>・地域内で街灯の位置や子供たちへ「こまったときはここにおいて」の箇所を検討し、防犯。</li> <li>・住民参加による<b>花いっぱい運動などの地域内交流</b>や、地区の魅力向上につながる<b>美化活動等</b>を支援。</li> <li>・語り部による<b>地域の歴史の掘り起こし</b>を支援。</li> </ul>	P.9
--	--	--	--	---	-----	---	-----

第二中学校地域

地域の課題		整備方針					
		1) 土地利用の方針		2) 地域施設の整備方針		3) その他地域のまちづくり方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内では、道路整備の遅れている路線が多い。特に下青江地区と堅徳地区を結び工場の中を走る市道と高速道路の津久見インターチェンジと市内中心部を結ぶ国道は<b>カーブや狭い箇所が多く、さらに変則の交差点、老朽化した橋梁やトンネル等の施設もあり、危険性や道路の分かりにくさが多くの利用者より指摘。</b></li> </ul>	P.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要幹線道路である国道<b>217号に面した港町の商業地域に指定しているエリアは中心商業業務地</b>と位置づけ、多彩な商業業務機能の集積を促進。</li> <li>・水晶山跡地は、<b>新拠点形成地区</b>として位置付け、関係企業と連携を図り、<b>本市の活性化の中心</b>となる土地利用。</li> <li>・岡町、地蔵町、志手町の一部は<b>複合工業地</b>と位置付け、基盤整備を進めながら<b>危険性や環境悪化の恐れが少ない工場を中心とした産業施設</b>の維持・誘導。</li> <li>・津久見港周辺の臨海部は<b>工業地</b>と位置付け、緑地等の確保等により<b>隣接する住宅地等との環境調和に努め、健全な操業環境の維持。</b></li> </ul>	P.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地、水晶山再開発拠点及び堅浦物流拠点における交通、物流の円滑化に向け、<b>市道徳浦松崎バイパス及び国道217号平岩松崎バイパスの整備を促進。</b></li> <li>・市街地内の<b>狭隘道路や未改良区間の整備を促進</b>。また、<b>地域を分断する踏切の改良</b>について関係機関へ働きかけ。</li> <li>・<b>幹線道路網の整備や分かりやすい案内標識の設置</b>を推進し、集落地内の生活道路への通過交通の流入を抑制。</li> <li>・本市の住宅地内の生活道路について、<b>歩行者が安心して通行できるよう歩行者空間を確保。</b></li> </ul>	P.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の基幹産業であるセメント産業の象徴的な景観となっている<b>工場や採石跡地のPR</b>を推進するとともに、<b>一般住宅地への緩衝緑地帯の整備</b>を指導。</li> <li>・セメント産業の観光的利用の推進とともに、桜マップ、ウォーキングマップ、サイクリングマップの作成や、各地で実施されている獅子舞など地域の祭事、あまり知られていない名所・旧跡を聞き取り調査等で発掘し、そのマップを作成することで<b>地域の特色のPR</b>を検討。</li> </ul>	P.16
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本地域内には<b>商業施設が少なく、さらに公共交通の利便性の悪い地区。</b></li> </ul>	P.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐伯津久見線や大泊浜徳浦線に面する一部の地域は<b>一般住宅地</b>と位置付け、<b>都市基盤整備を伴いながら良好な住環境の形成</b>。場所によっては、住環境への影響に配慮しながら<b>沿道型サービス施設の立地を許容</b>した利便性のある住宅地を形成。</li> </ul>	P.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの公共バスだけでなく、<b>コミュニティバスや福祉タクシー等、機動性の高い交通の利便性向上</b>に向け、多面的な視点より検討。</li> </ul>	P.16		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・縁辺部の農地では、近年の作物価格の低迷や後継者不足により<b>耕作を止めた荒廃圃。</b></li> </ul>	P.12					<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>みかん畑については、特に優良畑を本市の独特な緑農景観としその保全</b>。農業従事者の減少を食い止めるため、関係部署との調整により後継者対策の充実とあわせ新たな担い手の創出も検討しながら、優良畑の荒廃抑制。</li> <li>・日豊海岸国定公園、豊後水道県立自然公園に指定された海岸部については、<b>市街地に近い貴重な自然緑地として保全。</b></li> </ul>	P.8 P.16

・青江地区では青江ダム周辺に、長目地区では道路の改良工事が進む一方、旧県道周辺でゴミの不法投棄等の問題が発生。	P.12					・市街地縁辺部で多発している不法投棄問題については、地域住民とともに <b>美化活動の連携</b> 。	P.16
・長目地区において休校中の <b>長目小学校グラウンドが未利用地</b> となっており、その活用方法の検討。	P.12	・長目小学校跡地は、 <b>校舎等の既存ストックの有効活用</b> 方策を検討。	P.15				
				・本地域内にある街区（児童）公園については、施設整備の維持管理に努め、 <b>地域コミュニティの交流活動の場づくりとなるプログラム</b> 等を検討。	P.16	・ <b>防犯パトロールや交通安全の街頭指導などの活動</b> を支援し、安全・安心のまちづくり。 ・地域別ワークショップで再発見された地区の <b>伝統芸能等を通じたコミュニティの充実</b> を図る支援を検討。	P.16
						・木造の老朽化した密集市街地では、 <b>住宅の更新時には耐火耐震建築の指導</b> 。 ・土砂災害等の <b>危険個所の周知や避難訓練の実施</b> を検討。 ・津波発生時の <b>避難経路の確保や周知</b> 。	P.16

半島・島しょ部地域

地域の課題		整備方針					
		1) 土地利用の方針		2) 地域施設の整備方針		3) その他地域のまちづくり方針	
・高齢化・少子化の進展が著しく、 <b>農漁村集落の老朽化した建築物</b> が多い。	P.20	・ゆとりある居住環境の形成と地域コミュニティ維持施策を検討。 ・休校中の学校等の施設については、 <b>利活用を含め</b> 検討。 ・老朽化した木造住宅については、 <b>耐震診断や耐震改修の促進</b> 。 ・増加する <b>空き家、空き地及び放棄畑</b> については、 <b>集約化する施策</b> を検討。 ・ <b>ゴミの放棄をさせないキャンペーン</b> 等、自然環境の保全。	P.22			・ <b>公民館等のコミュニティ施設を拠点と位置づけ、地域コミュニティを活用し地域情報の共有化や地域の魅力向上に向けたソフト施策</b> を検討。 ・住民参加による植樹や清掃活動など、地区の <b>魅力向上につながる美化活動等</b> を支援。 ・養殖用資材などの <b>漂着ごみ</b> については、 <b>発生元の調査及び指導の徹底</b> を関係機関に依頼。	P.23
・住宅は、急斜面から成る山地を背後に狭小な平坦地や斜面の法尻に密集していることが多く、 <b>地域内の移動が困難</b> であることから、一部の地区では高齢者に大変不便な生活。	P.20			・集落内の生活道路について、歩行者が安心して通行できるよう生活道路の改善など、交通安全対策。	P.20		
・集落の背後に急斜面を持つ地区が多く土砂災害の危険性が常時ある上に、南海・東南海地震の発生確率が年々高まってきており、津波発生時には市街地よりも到達予測時間が早いため、 <b>災害に対して、迅速な対応と対策が必要</b> 。	P.20					・ <b>土砂対策や地震対策、津波・高潮対策を実施</b> するとともに、地域の方々が迅速に避難でき安全に暮らせるよう、 <b>避難路や避難場所の設定や定期的な避難訓練を実施</b> し、自助、共助の強化プログラムを検討。	P.23

<p>・都市基盤は他地域と比べ特に排水対策が遅れており、小河川や海の汚濁が深刻。ほとんどの住宅はトイレの水洗化ができず、汲取り処理。</p>	P.20			<p>・排水対策は、環境保全の観点から取り組みを検討し、関係機関に働きかけ。</p>	P.22		
<p>・四浦半島地区の主要道路である県道四浦日代線以外に、国道217号バイパス、荒代トンネルや久保泊トンネル等の開通により、本市の中心市街地までの時間距離が短縮されたが、まだ交通利便性や日用品購入等の利便性が欠如。</p>	P.20			<p>・路線バスや離島航路等、公共交通のさらなる充実にむけ、多面的な視点より検討。</p>	P.22		
<p>・道路については、地形的条件からリアス式の海岸線を運行する箇所が多く、車両の離合など運転上危険を伴う箇所が見られ、歩行者の安全対策は確保できておらず、生活道路として活用している集落内道路も高齢化が進む中、段差等の未改良。</p>	P.20			<p>・(再掲)集落内の生活道路について、歩行者が安心して通行できるよう生活道路の改善など、交通安全対策。</p>	P.20		
<p>・公共交通については、半島部の主要な交通手段は路線バスが運行しているが運行数・利用者とも少なく、自家用車の利用が大半。島しょ部は、保戸島、無垢島ともに、本市中心部を結ぶ主要な交通手段として定期航路が確保。しかし、無垢島航路は、特に便数が少なく、津久見側から一日に往復できるのは週に3日のみ。</p>	P.20			<p>・(再掲)路線バスや離島航路等、公共交通のさらなる充実にむけ、多面的な視点より検討。</p>	P.22		
<p>・絶好の釣りポイントが多い反面、遊漁者によるゴミの投棄や違法駐車等と共に、漂着ごみが問題となっており、地域の方に負担。 ・本地域は、自然豊かな風光明媚な場所であり、山地や海岸の景観が人々に安らぎを提供しており、絶景ポイントが多い。しかし、四浦半島の一部では土採り場となっている地区があり、景観に影響。</p>	P.20			<p>・地域に点在する観光資源や歴史・文化的資源等をネットワークする案内看板や観光情報の整理を検討。</p>	P.22	<p>・多くの優良な眺望景観の視点場の整備と周辺景観の美化を地域の方々と実施。 ・土採り場など、植生による景観回復を関係者に働きかけるなど、景観保全を推進。 ・うみたま島や四浦展望台など、既存ストックの有効利用を行い、地域と連携したレクリエーションネットワークの創出を検討。また、住民参加で植樹した河津桜やアジサイなど、内外にPR。 ・保戸島、無垢島等は自然レクリエーション拠点と位置付け、ブルーツーリズム、自然学習とのソフト施策とセットで島の活性化を検討。</p> <p>・(再掲)養殖用資材などの漂着ごみについては、発生元の調査及び指導の徹底を関係機関に依頼。</p>	P.23